

温 泉 分 析 書 別 表

1 源 泉 名 : 鉱泉地1号	
2 源 泉 所 在 地 : 北海道河東郡上士幌町字ぬかびら源泉郷南区25番2号	
3 温泉分析申請者 : 河東郡上士幌町字ぬかびら源泉郷 株式会社 富士見観光ホテル 中村屋	
4 泉 質 : ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩温泉 (中性低張性高温泉) (旧泉質名: 含重曹-食塩泉)	
5 療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。	
浴 用	禁忌症 急性疾患 (特に熱のある場合)、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患 活動性の結核、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中 (特に初期と末期)。
	適応症 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、冷え症 疲労回復、慢性消化器病、痔疾、病後回復期、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病 虚弱児童、慢性婦人病。
飲 用	禁忌症 腎臓病、高血圧症、その他一般にむくみのあるもの。
	適応症 慢性消化器病、慢性便秘、糖尿病、痛風、肝臓病。
<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1; text-align: center; vertical-align: middle;"> 浴用、飲用の 一般的注意事項 </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <p>1 入浴の方法及び注意</p> <p>(1) 熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので十分注意をすること。</p> <p>(2) 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分位とし、なれるにしたがって延長してもよい。</p> <p>(3) 入浴中は運動浴の場合は別にして、一般には安静を守ること。</p> <p>(4) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守ること。</p> <p>(5) 高度の動脈硬化症、高血圧症及び心臓病の患者は原則として、高温浴 (42℃以上) を禁忌とする。</p> <p>(6) 入浴後は身体に付着した温泉成分を水で洗い流さないのがよい。ただし、「湯ただれ」を起こし易い人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分をふき取るのがよい。</p> <p>(7) 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。</p> <p>(8) 飲酒しての入浴は特に注意すること。</p> <p>(9) その他</p> <p>2 飲用の方法及び注意</p> <p>(1) 飲用の1回量は一般に100mlないし200ml程度とし、その1日量はおおむね200mlないし1,000mlまでとする。</p> <p>(2) 一般には食前30分ないし1時間がよい。</p> <p>(3) 夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けること。</p> <p>(4) その他</p> <p style="margin-left: 20px;">大人一人一日の飲用量は690ml以内とすること (フッ素含有)。</p> <p style="margin-left: 20px;">15歳以下のものについては、知見が必ずしも十分でないため、原則的には飲用を避けること。</p> <p style="margin-left: 20px;">ただし、例外的に飲用する場合には、医師の指導を受けること。</p> <p>◎ 温泉療養に際しては、医師の指導を受けることが望ましい</p> <p>(注) この別表は、温泉法第18条による掲示に必要な参考資料となるものである。</p> </div> </div>	
平成 21 年 11 月 10 日 <div style="float: right; text-align: right; margin-top: 10px;"> 決定者 北海道立衛生研究所長 </div>	